

鼻濁音とは、日本語において鼻に抜けるように発音されるガ行音です。地方・方言によって鼻濁音の有無が異なります。東京などでは、語頭以外のガ行音や助詞の「が」がこの発音になるとされています。

鼻濁音の表記

鼻濁音を表すために、平仮名・片仮名の「かきくけこ・カキクケコ」に半濁点をつけた文字を用いることがあります。

通常の濁音が鼻濁音であるかは言語としての区別の機能を持たないので、こうした半濁点つきのカキクケコは、通常の言語表記には用いられません。一種の発音記号のようなものといえます。NHKが出しているアナウンサーの発音を示した出版物に使われるなどしています。

鼻濁音表記と JIS X 0213

JIS X 0213 は、これら鼻濁音表記用の平仮名・片仮名を収録しています。

平仮名「かきくけこ」の半濁点つきは、漢字集合 1 面の 4 区 87 点から 91 点までに、片仮名「カキクケコ」の半濁点つきは、5 区 87 点から 91 点までにあります。

通常の平仮名・片仮名と同じく、ちょうど 1 区違いに平仮名・片仮名が配置されているので、例えば EUC-JIS-2004 の場合なら平仮名の第 1 バイトに 1 を足すと片仮名になります。

鼻濁音表記と Unicode

JIS X 0213 が制定されたあと、Unicode に無かった文字は Unicode への収録作業が行われましたが、これら鼻濁音表記用の平仮名・片仮名は、既にある通常の文字に合成用半濁点 (U+309A) を続けることで表現可能であるとして、独立した符号位置を与えられませんでした。例えば、「か」に続けて U+309A を置くことで「半濁点つきの『か』」を表します。

関連項目

- ・ 平仮名
- ・ 片仮名